科目名	政治・経済	単位数	3単位	実施予定授業数	105時間

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	(1) 現実社会の諸課題の解決に向けて、探究するための手掛かりとなる概念や理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切に調べまとめる技能を身につける。【知識・技能】 (2) 国家・社会の形成者として必要な判断の基準となる考え方・概念・理論を活用して現実社会にみられる複雑な課題を把握し、説明できるようにする。また、判断基準をもとに構想し、その妥当性や効果について公正に議論・判断できる力を身につける。【思考力・判断力・表現力】 (3) 現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また自国だけでなく国際社会においてもより積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。【主体的に学習に取り組む態度】
使用教科書・ 副教材　等	教科書　7実教　政経702『詳述 政治・経済』(実教出版) 資料集　『政治・経済 資料2024』(とうほう) 問題集　『実践攻略 公共,政治・経済 大学入学共通テスト問題集』(実教出版)

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学　習　の　ね　ら　い(評価規準)	時数
第1学期	導入 第1部 第1編 現代日本の政治 第1章民主制の基本原理 第2章憲法の基本的性格 第3章日本の政治機構 第4章現代日本の政治 第2部 第1章現代の国際政治	4 5 6	学習方法、探究活動の進め方、課題、評価の仕方についての指導。 日本の政治・国際政治に関する諸資料を活用し、課題を追及したり解決に向け考察したりする活動を通して、次の事項を身についている。 ・日本政治や国際政治の特徴やしくみについて理解している【知識・技能】 ・日本政治や国際政治を扱う資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】 ・日本政治や国際政治の変化や課題について考察し、問いを表現できる【思考力・判断力・表現力】 ・日本政治や国際政治の課題について主体的に追求し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	35
	【知識・技能】 ①定期考査(80%)…概念や理論の名称や内容など、基本的な知識について扱う部分を評価の対象とする。 ②提出物(20%)…資料から情報を読み取り、まとめる提出物を課し、内容や提出状況を評価の対象とする。			
	【思考・判断・表現】 ①定期考査(80%)…概念や理論を用いて考察・論述する問題や、複数の資料から考察したり判断したりする問題を課し評価の対象とする。 ②レポート又はプレゼンテーション(20%)…政治・経済の諸課題について考察し、まとめる活動を評価の対象とする。			
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①提出物(40%)…締切までに提出できたか、やり残しなどの漏れがないか等を評価の対象とする。 ②自己評価(20%)…学期末に行う授業に対する取り組みについての自己評価を評価の対象とする。 ③課題又はプレゼンテーション(40%)…課題の内容や提出状況、発表活動の内容などを評価の対象とする。			
	【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化する。その際、各観点を40%:40%:20%の割合で総括し、10段階評定とする。			

<table>
<tr><th>学期</th><th>学習内容</th><th>月</th><th>学　習　の　ね　ら　い（評価規準）</th><th>時数</th></tr>
<tr><td rowspan="5">2学期</td><td>第１部
第２編 現代日本の経済
第１章経済社会の変容
第２章現代経済のしくみ
第３章現代経済と福祉の向上

第３編現代日本における諸課題の探究

第２部
第２章現代の国際経済</td><td>7

8

9

10

11</td><td>日本の経済・国際経済に関する諸資料を活用し、課題を追及したり解決に向け考察したりする活動を通して、次の事項を身についている。
・日本経済や国際経済の特徴やしくみについて理解している【知識･技能】
・日本経済や国際経済を扱う資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】
・日本経済や国際経済の変化や課題について考察し、問いを表現できる【思考力・判断力・表現力】
・日本経済や国際経済の課題について主体的に追求し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</td><td>45</td></tr>
<tr><td colspan="4">【知識・技能】１学期と同様</td></tr>
<tr><td colspan="4">【思考・判断・表現】１学期と同様</td></tr>
<tr><td colspan="4">【主体的に学習に取り組む態度】１学期と同様</td></tr>
<tr><td colspan="4">【２学期の評価方法】１学期と同様</td></tr>
<tr><td rowspan="6">3学期</td><td>第２部
第３章国際社会の諸課題の探究</td><td>12

1

2</td><td>国際社会の課題に関する諸資料を活用し、課題を追及したり解決に向け考察したりする活動を通して、次の事項を身についている。
・国際社会の課題やその取り組みについて理解している【知識・技能】
・国際社会の課題を扱う資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。【知識・技能】
・国際社会の課題やその変化について考察し、問いを表現できる【思考力・判断力・表現力】
・国際社会の課題について主体的に追求し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</td><td>25</td></tr>
<tr><td colspan="4">【知識・技能】１学期と同様</td></tr>
<tr><td colspan="4">【思考・判断・表現】１学期と同様</td></tr>
<tr><td colspan="4">【主体的に学習に取り組む態度】１学期と同様</td></tr>
<tr><td colspan="4">【３学期の評価方法】１学期と同様</td></tr>
<tr><td colspan="4">【年間の学習状況の評価方法】
各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」について点数化したものを合計した上で、各観点を 40%：40%：20%の割合で総括し、年間の５段階評定とする。</td></tr>
</table>